

Ⅱ 総務班

- 1 平成 28 年度歳入決算
- 2 平成 28 年度歳出決算
- 3 収入未済関係

1 平成28年度歳入決算

<一般会計>

(単位：千円)

歳入科目	平成27年度	平成28年度	増(△)減額
(款) 分担金及び負担金	343	1,144	801
(項) 負担金	343	1,144	801
(目) 民生費負担金	343	1,144	801
(款) 財産収入	22	0	△ 22
(項) 財産売払収入	22	0	△ 22
(目) 物品売払収入	22	0	△ 22
(款) 諸収入	13,988	17,765	3,777
(項) 雑入	13,988	17,765	3,777
(目) 雑入	13,988	17,765	3,777
計	14,353	18,909	4,556

(注) 一般会計において財産収入は千円未満(378円)のため計上していない。

<母子寡婦福祉資金特別会計>

(単位：千円)

歳入科目	平成27年度	平成28年度	増(△)減額
(款) 諸収入	16,399	17,090	691
(項) 貸付金元利収入	16,139	16,985	846
(目) 母子父子寡婦福祉貸付金元利収入	16,139	16,985	846
(項) 雑入	260	105	△ 155
(目) 違約金及び延納利息	260	105	△ 155
計	16,399	17,090	691
合計	30,752	35,999	5,247

2 平成28年度歳出決算

<一般会計>

(単位：千円)

歳 出 科 目	平成27年度	平成28年度	増減 (△) 額
(款) 総務費	552	380	△ 172
(項) 総務管理費	552	380	△ 172
(目) 人事管理費	552	380	△ 172
(款) 民生費	554,369	562,444	8,075
(項) 社会福祉費	32,936	31,458	△ 1,478
(目) 社会福祉総務費	14,235	14,914	679
(目) 障害者福祉費	17,231	16,311	△ 920
(目) 老人福祉費	167	126	△ 41
(目) 障害者自立支援諸費	1,303	107	△ 1,196
(項) 児童福祉費	13,565	21,450	7,885
(目) 児童福祉総務費	8,625	9,217	592
(目) 児童措置費	1,917	4,667	2,750
(目) 母子福祉費	3,008	7,559	4,551
(目) 児童福祉施設費	15	7	△ 8
(項) 生活保護費	507,868	509,536	1,668
(目) 生活保護総務費	28,705	26,469	△ 2,236
(目) 生活保護扶助費	479,163	483,067	3,904
計	554,921	562,824	7,903

<母子寡婦福祉資金特別会計>

(単位：千円)

歳 出 科 目	平成27年度	平成28年度	増減 (△) 額
(款) 民生費	20,472	13,618	△ 6,854
(項) 母子寡婦福祉費	20,472	13,618	△ 6,854
(目) 母子寡婦福祉費	20,472	13,618	△ 6,854
計	20,472	13,618	△ 6,854

合 計	575,393	576,442	1,049
-----	---------	---------	-------

3 収入未済関係

(1) 生活保護費返還金等歳入決算額調査(平成26年度～平成28年度)

(単位:円)

年度	調定			収入済			収入率 b/a	a-b	不納欠損			収入未済			未済率 d/a
	債権 数	調定 件数	調定額a	債権 数	調定 件数	収入済額b			債権 数	調定 件数	不納欠損額 c	債権 数	調定 件数	収入未済額d	
平成26年度(計)	204	896	27,526,934	204	612	19,081,065	69.3%	8,445,869	0	0	0	204	285	8,445,869	30.7%
過年度	98	209	7,771,717	98	37	510,779	6.6%	7,260,938	0	0	0	98	173	7,260,938	93.4%
現年度	106	687	19,755,217	106	575	18,570,286	94.0%	1,184,931	0	0	0	106	112	1,184,931	6.0%
平成27年度(計)	230	979	21,662,857	154	523	11,772,166	54.3%	9,890,691	0	0	0	98	456	9,890,691	45.7%
過年度	67	285	6,688,791	11	22	162,703	2.4%	6,526,088	0	0	0	62	263	6,526,088	97.6%
現年度	163	694	14,974,066	143	501	11,609,463	77.5%	3,364,603	0	0	0	52	193	3,364,603	22.5%
平成28年度(計)	210	1,173	29,031,401	134	583	17,487,250	60.2%	11,544,151	3	3	335,293	107	587	11,208,858	38.6%
過年度	66	387	7,857,171	18	38	1,348,107	17.2%	6,509,064	3	3	335,293	58	346	6,173,771	78.6%
現年度	144	786	21,174,230	116	545	16,139,143	76.2%	5,035,087	0	0	0	49	241	5,035,087	23.8%

(留意事項)

※ 決算時の推移を表記。

※ 「債権数」とは、返還決定1件につき1件とする。(分割調定がある場合は、調定が複数あっても1件と計上。)

・同一の債権で一部収入済みで一部収入未済がある場合、「調定」「収入済」「収入未済」それぞれ1件ずつ計上。

・同一の債権で、例えば平成26年度～平成28年度の3年間の分割調定債権の場合、「過年度」1件、「現年度」1件、「(計)」1件と計上。

※ 「調定件数」とは、調定調書1件につき1件とする。(分割調定がある場合は、分割調定後の調定数で計上。)

(2) 未収金に係る滞納理由(生活保護費返還金等)

(単位:件、円)

	債権数(計)	収入未済額(計)	左の内訳(滞納理由別)												備考
			①生活困窮、経営不振等			②死亡、所在不明等			③破産、民事再生等			④その他			
			債権数	調定件数	金額(円)	債権数	調定件数	金額(円)	債権数	調定件数	金額(円)	債権数	調定件数	金額(円)	
平成26年度末(決算値)	1,183	99,386,674	1,101	5,841	82,098,933	78	564	17,251,741	4	11	36,000	0	0	0	
北部福祉保健所	80	8,445,869	66	207	5,221,469	14	78	3,224,400							
中部福祉保健所	658	53,299,926	621	3,392	41,876,752	36	231	11,411,174	1	6	12,000				
南部福祉保健所	436	35,978,053	407	2,120	33,530,591	26	222	2,423,462	3	5	24,000				
宮古福祉保健所	2	937,001	2	54	937,001										
八重山福祉保健所	7	725,825	5	68	533,120	2	33	192,705							
平成27年度末(決算値)	1,255	104,204,804	1,138	7,805	83,906,129	112	796	19,870,213	5	31	428,462	0	0	0	
北部福祉保健所	98	9,890,691	92	446	8,303,423	6	10	1,587,268							
中部福祉保健所	660	55,376,364	601	4,878	41,545,594	57	448	13,603,710	2	2	227,060				
南部福祉保健所	484	37,549,394	435	2,407	32,840,877	48	337	4,674,235	1	1	34,282				
宮古福祉保健所	2	843,000	2	36	843,000										
八重山福祉保健所	11	545,355	8	38	373,235	1	1	5,000	2	28	167,120				
平成28年度末(決算値)	1,269	123,418,513	1,129		97,317,248	133		24,999,251	6		1,097,014	1		5,000	
北部福祉事務所	107	11,208,858	89		6,765,501	18		4,443,357							
中部福祉事務所	583	53,866,568	505		40,559,717	72		12,209,837	6		1,097,014				
南部福祉事務所	571	57,354,582	529		49,763,525	42		7,591,057							
宮古福祉事務所	0	0	0		0										
八重山福祉事務所	8	988,505	6		228,505	1		755,000				1		5,000	

(留意事項)

※ 網掛け箇所の「債権数(計)」「収入未済額(計)」は、左の内訳①～④の合計。

※ 「債権数」とは、返還決定1件につき1件とする。(分割調定がある場合は調定が複数あっても1件と計上。)

※ 金額は現年度分と過年度分との合計である。